

主なポイント

1 (1)

通報届出件数、虐待認定件数は、平成26年度は平成25年度より減少したが、平成27年度は平成26年度より増加した。また、虐待の認定件数は過去3か年で最大となった。

	通報届出件数	虐待認定件数
平成25年度	379	106
平成26年度	294 (↓)	95 (↓)
平成27年度	312 (↑)	118 (↑)

(2)

通報・届出者の内訳について、「養護者による虐待」では、施設関係者や行政からの通報・届出が増加した一方、本人や家族からの通報・届出は減少した。

「施設従事者による虐待」では、本人や家族からの通報・届出が増加した一方、施設関係者からの通報・届出はやや減少した。

以上から、外部の人が虐待通報を行う傾向にあるという結果があらわれた。

2 (1)

障害者虐待の類型にて、「養護者による虐待」では、例年同様、身体的虐待の占める割合が多かった。「使用者による虐待」では、経済的虐待の占める割合が圧倒的に多いが、その理由として、ひとつの事案で多数の障害者に対する虐待が認定されたことが考えられる。

(2)

被虐待者の障害種別については、例年同様、知的障害者及び精神障害者の占める割合が大きかった。

特に「施設従事者による虐待」及び「使用者による虐待」において、精神障害者への虐待が大幅に増えた理由として、ひとつの事案で多数の障害者に対する虐待が認定されたことが考えられる。